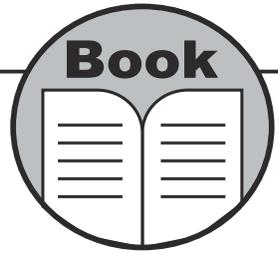


こんにちわ!

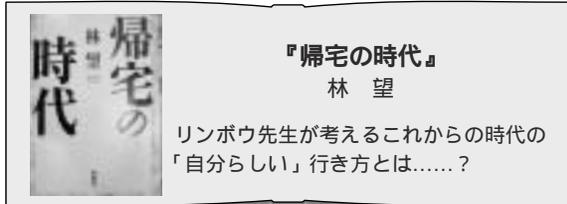
南部町立図書館です



～図書館は、赤ちゃんから大人の方まで誰でも気軽に利用できる施設です。～

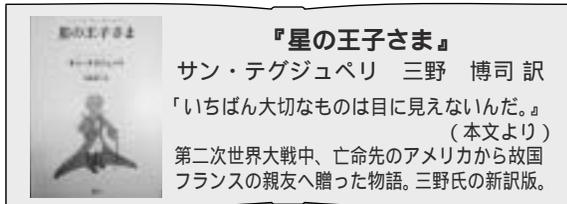
新しく入った本のご案内 ご紹介しているのは一部です。

文学・小説



『帰宅の時代』
林 望
リンポウ先生が考えるこれからの時代の「自分らしい」行き方とは.....?

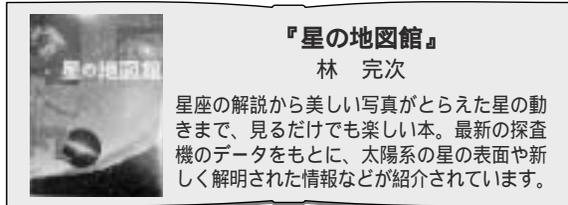
- 『世界中が雨だったら』 市川 拓司
- 『すきまのおともだち』 江國 香織
- 『絶海にあらず』(上・下) 北方 謙三
- 『一枚摺屋』 城野 隆
- 『SPEED』 金城 一紀
- 『AMEIBIC』 金原ひとみ
- 『信長の棺』 加藤 廣
- 『子供たち怒る怒る怒る』 佐藤 友哉
- 『ロズウェルなんて知らない』 篠田 節子
- 『世界に抱かれるために』 田口ランディ
- 『スパイラル・エイジ』 新津きよみ
- 『パンツの面目、ふんどしの沽券』 米原 万里
- 『ヌレエフの犬』 エルケ・ハイデンライヒ
- 『カレーソーセージをめぐるレーナの物語』 ウーヴェ・ティム
- 『夏の家、その後』 ユーディット・ヘルマン



『星の王子さま』
サン・テグジュペリ 三野 博司 訳
「いちばん大切なものは目に見えないんだ。」
(本文より)
第二次世界大戦中、亡命先のアメリカから故国フランスの親友へ贈った物語。三野氏の新版。

その他

- 『わたしの中の阿修羅』 ひろ ちさや
- 『ドロップアウトのえらいひと 続』 森永 博志
- 『ちび象ランディと星になった少年』 坂口小百合
- 『新シルクロードの旅2』 N H K取材班・監督
- 『白衣を脱いだらみな奇人』 平盛 勝彦
- 『クライ・ムキの子供服』 クライ・ムキ
- 『アジアスタイルをとことん楽しむ!』
- 『母に習えばウマウマごはん』 小栗佐多里

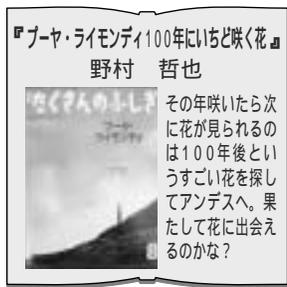


『星の地図館』
林 完次

星座の解説から美しい写真がとらえた星の動きまで、見るだけでも楽しい本。最新の探査機のデータをもとに、太陽系の星の表面や新しく解明された情報などが紹介されています。

児童書

- 『クロイヌ家具店』 大海 赫
- 『雨ふりマウス』 竹下 文子
- 『アイスクリームの絵本』 みやちひろひと
- 『やさいのせなか』 きうちかつ
- 『夜の音楽美術館』 須藤 ごう
- 『みんなが知りたい! いろんな「日本一」がわかる本』 ベンハウス
- 『プーヤ・ライモンディ100年にいちど咲く花』 野村 哲也



直木賞 受賞作

『花まんま』 朱川 湊人

入っています!

芥川賞 受賞作

『土の中のこども』

中村 文則

刊行され次第、入荷します

探している本が見つからない時は...
ご遠慮なく職員にお尋ねください。お探しします。

貸出し中の場合

ご予約できます。返却され次第ご連絡します。

図書館にない場合

購入するか他の図書館から借りるなど、できるだけご希望にお応えします。

★ 子どものための 調べてみようコーナー ★

夏休みを利用して、鳥取県内・南部町内で作られている農作物を調べてみませんか?

お米・スイカ・ソバなどについての分かりやすいパネルと資料を展示しています。

8月26日(金) 16:00まで図書館本館二階



休館日カレンダー

●は休館日
今月は30日が図書整理日です。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

自分をカエル 見かたをカエル



こんな話がありました。

従来の日本では、家族の絆が強く、離婚率も比較的低い、安定した家族像があつたけれど、男女共同参画社会を強調しすぎることによって伝統的な家族のあり方を崩壊させてしまうのではないのでしょうか。

皆さんはどう思われますか？

実質的に家族の絆を強めるために

男女共同参画社会とは、「家族を構成する男女が、相互の協力と社会の支援の下に、子の養育、家族の介護その他の家庭生活における活動について家族の一員としての役割を円滑に果たし、かつ、当該活動以外の活動を行うことができる」（男女共同参画社会基本法第六条）社会のことです。自らの選択と意思により家

族を構成した個人が、お互いに尊重し合い、協力し合うことによって、形式的ではなく実質的に絆の強い家族をつくるうとするものです。

国連も平成六（一九九四）年には「国際家族年」として、家族の絆を重視した取り組みを進めました。ここでは「社会の最小単位である家族に民主主義を築こう」と提唱しました。封建的な家族秩序が存在し、家族の誰かの人生が犠牲となるというのではなく、一人一人が大事に尊重される民主的な家族であることが家族の絆の前提であるという考え方がです。男女共同参画社会も、夫婦、子どもその他家族の構成員が互いに協力し合って支え合い、尊重しあつて絆を深めることを促すものなのです。

対等な関係でないから崩壊する

様々な理由から離婚せざるを得ない

夫婦がいるのは事実です。離婚の動機には性格の不一致、異性関係、暴力、精神的虐待など様々な動機が考えられますが、それは意思の疎通、相互理解、相互の協力など男女共同参画が目指す家族が実現していないから起きるともいえます。

男女共同参画社会は、夫婦のいずれか一方の犠牲を前提とするのではなく、夫婦それぞれが対等なパートナーとして互いに尊重しあうことによって家族の絆を深めることを支援する社会なのです。安易な離婚を推奨したり家族の絆を否定したりするものではないのです。

日本の離婚率は世界の中では比較的低かったのですが、近年では上昇傾向にあります。この背景には、対人関係能力において未熟で自立できていない男女が増加しているという指摘があります。また、夫との間に深刻な問題はあつても、世間体を気にしたり、経済的自立の見通しがないかったり、子供の養育のことなどを考え、堪え忍ばざるをえない状況におかれがちであつた女性が、止むを得ず離婚に踏み切り、新しい生き方を選択することが増えてきていると

いうことも考えられます。

男女共同参画社会が安易な離婚を推奨するものではないといつても、不幸にして結婚が破綻して回復の見込みがない場合には、その状態から解放され、新しい生き方をするという選択肢があることは当然です。

キーワードは……
家族間の対等をパートナーシップ

夫婦や親子の関係を取り巻く社会が急速に変化し、多様化している今日にあつては、家族が抱えている問題を克服し、家族の絆を強めるためには、家族間において相互に相手を思いやるようなコミュニケーションを深め、協力しあうことが大切です。男女共同参画社会は、夫婦それぞれが対等なパートナーとして互いに尊重しあうことによって家族の絆を深めることを目指しているのです。

参考：内閣府男女共同参画局「男女共同参画に関する基本的な考え方」